



農大



第30回全国都市緑化とっとりフェア会場 『農大の庭』完成!!

全国都市緑化フェアで 本校の景観を再現

校長 安養寺 寿一

九月二日から十一月一〇日まで、湖山池公園で開催された第三〇回全国都市緑化とっとりフェアにおいて、「みどりのまちゾーン」で、県内企業・団体四六社、高校・大学八校とともに本校も作品を展示しました。

本校の作品は『「農」ヲ感ジテ・』と題し、時計塔、芝の円形広場等本校の景観を再現するほか花や野菜、水稻等農作物も植栽し、農大らしさを表現しました。作品の企画・製作は、花きコースの学生、職員が行いました。

本校の施設は平成九年に全面改築されましたが、地場産の木材や石、既存樹木等が最大限活用され、その景観は大山を背景にした豊かな自然と田園空間に溶け込んでいると高く評価されています。こうした景観が今回の作品の源であります。

これからも学生や研修生をはじめ本校に來訪する全ての人の心に残る景観を継承していきたいものです。

第30回 全国都市緑化とっとりフェア



最初は何もありませんでした

イメージは学校の風景……。テーマは「農」。山があつて川が流れ、稲穂が実る。畑を作り野菜や果樹を植え、花で飾る。自然の中で、眺めるだけでなく、育てて食べて愉しむ……。少しでも農業の多面的機能の一部を感じてもらえたら……。そんな思いで学生が設計し、施工しました。工事は7月下旬、9月中旬の2期にわたり、合わせて10日間の工期を経て完成させました。



六方石で山を、石で流れを作り、水は水田へ……



稲を植えたのは数ある庭園の中でも唯一、農大のみ

9月21日から11月10日までの日程で、鳥取市の湖山池公園をメイン会場に第30回全国都市緑化とっとりフェアが開催され、本校も花きコースが屋外出展に参加し、庭を造りました。



時計塔と円形広場は農大のシンボル



水を循環させる工夫をしました。水漏れに苦しめられました



コンテストで銀賞受賞!



灌水、植え替えなどのメンテナンスに湖山まで通いました。台風のために暴風対策も……。



農大の取り組みあれこれ...

特集2

今、農業は生産だけではなく、加工や販売面においても積極的な取り組みが必要になっており、農大においても6次産業化（農大ブランド商品の開発、校内外での流通販売実習）に取り組んでいます。一方、一般県民に対しては、農業や農大についてより

理解を深めていただくため、オープンカレッジ等の聴講制度を行っています。

このように、農業大学校では色々な取り組みを行っていますが、ここでは、各コースの様子をご紹介します。今の農大についてご理解いただければと思います。

果樹コース

梨ジョイント仕立て



今注目の新技術「ジョイント仕立て」に取り組んでいます。

樹と樹をつなぎ合わせて樹形を単純化させることで、管理作業が楽に行える等のメリットがあります。本校では、新品種の夏さやか、なつひめで取り組んでいます。

野菜コース

有機栽培実習スタート



無農薬栽培なので、毎日除草や虫とりに追われています。

有機栽培農家の方が「有機は作物に愛情を注ぐこと」と言われていたけど、少しわかった気が…、と思いつつ今日も鍬を持って作業しています！

花きコース

玄関の装飾



今年の花きコースの目玉は、何といっても全国都市緑化とっとりフェアへの出展です。設計から施工にかけて、予期せぬトラブルに見舞われましたが、自分たちが誇れるものができました。「庭づくり」の一端に触れ、貴重な経験となりました。

花の栽培以外に、フラワーアレンジメント等の「花の活用」についても力を入れています。農大市等のイベントでは、花を使って玄関を彩るなど、日々精進しています。

高産コース

牛は身近な存在



合計47頭の乳牛と和牛を日々管理しています。

牛舎構造はフリーストール方式でパドックもあり、牛たちは自由に運動しています。

共進会には積極的に参加し、牛たちとの距離が近いことが、本コースの特徴です！

作物コース

農薬を使わない栽培に挑戦



今年、2ほ場合計26aで農薬や化学肥料を使用しない栽培に取り組みました。最も大変な除草作業は自作したチェーン除草機の作業でした。田植え後4日目に1回目を行い、その後5日毎に計7回行い、雑草はほぼ抑えることができました。生育は順調で、無事に収穫を終えました。

短期研修科

OB訪問



研修生OBは、県内各地で就農して活躍しておられます。そこで、「就農の心構え」等を直接聞き、就農に対する意識を高めることを目的に、昨年度からOB訪問研修を行っています。就農後の営農形態は研修生によって様々ですが、色々な情報が聞けるので、研修生の満足度は高いようです。今後も、研修生の就農支援に努めて参ります。

平成
25年度

農家等留学研修



7月下旬から9月末にかけて、2年生23名が、26日間の農家留学研修に出かけました。先進的な農業を実践しておられる農家のところへ出かけて、一緒に作業しながら技術や経営の実態を体験することが目的です。

今年は23名の2年生のうち、半数近くの11名が県外で研修しました。近くは岡山県、遠くは熊本県、愛知県などです。また14名の学生は、農家に泊まり込みで研修させていただきました。日頃は、農大の農場で実習をこなしている学生ですが、異なる栽培方法や経営、そして受入農家の暖かいお人柄に接し、ずいぶん目からウロコが落ちたことでしょうか。顔つきも少しは大人びてきたかな？

受入農家の皆様はもちろん、受入先を紹介いただいた普及所の皆様など、沢山の方にお世話になりました。本当にありがとうございました。

ここでは、学生、研修生の感想をご紹介します。



果樹コース ^{まる}丸 ^{やま}山 ^{しょう}翔 ^ご吾

私は広島県世羅郡にある世羅幸水農園に研修に行きました。そこは組合法人で大規模に経営されています。梨だけで約55haと大変広い農場で、最初は足手まといにならないか不安でした。しかし、農園の原田組合長から「たくさん勉強して帰ってくれたらいい」と言ってもらい、気持ちが楽になりました。

炎天下での作業は決して楽ではなく、運搬・収穫・選果・販売など作業が変わる度に一緒に働く人も変わり大変でしたが、従業員の方などに優しくしてもらい、乗り切ることができました。とてもよい環境で研修できて本当によかったです。

野菜コース ^{やま}山 ^{さき}崎 ^{まさ}真 ^し史

私は大分県日田市にある足立農園に研修に行きました。足立農園では、夏はスイカ、冬は白菜を大規模経営されています。畑が広大でハードな作業もありましたが、とても充実した研修でした。自分でも驚くほど成長できました。また別府温泉に連れて行ってもらう楽しい思い出もできました。研修でお世話になった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



野菜コース ^{おか}岡 ^の野 ^{たかし}孝

私は広島県でベビーリーフ、ハーブを栽培している梶谷譲さんの農園で研修しました。梶谷さんはとてもユニークな方で楽しく作業ができました。また、有機農業に対する考え方や農業をする上での信条を聞かせてもらい勉強になりました。野菜コースでは本年度から有機栽培に取り組んでおり、梶谷さんの技術を参考に栽培をしたいです。



花きコース 加藤 利江

私は熊本県の宮本さん宅で、主にカスミソウについて研修を行いました。1か月近く生活を共にしたことで、仕事の仕方、考え方などを学ばせていただきました。「仕事は、しっかりと時間を決めて行う」という宮本さんの言葉が特に印象に残っており、作業に集中することが「良い仕事」に繋がっているのだと感じました。「もっと長く研修が続けば良いのに」と感じたほど、毎日がとても充実していました。将来、私は農家を目指しています。今回の経験は、とても貴重な財産となりました。



畜産コース 稲葉 大志



私は鳥取県東伯郡琴浦町の(有)とうはく畜産で研修を行いました。(有)とうはく畜産は従業員数19名、1,700頭規模の県内有数の和牛肥育農場であり、各種共進会で入賞を果たすなど優秀な農場です。

研修当初は、牛舎作業が農大とは異なり、戸惑いをもちましたが、親切に指導いただき、慣れることができました。

牛の健康状態をメモして報告することや、経費節減を意識して無駄なエサをやらないことなど、身をもって体験することができました。

私は、肥育農場への就農を目指しており、この研修で学んだ事を今後の学校での作業や就農した時に生かしたいと考えています。

作物コース 長谷川 潮

私は、鳥取県青谷町にある(株)アグリファクトリーで水稻の研修を行いました。

水稻中心の大規模経営であり、とても多くの経験をすることができました。

コンバインの折れた刈刃の交換やキャタピラの付け替えは農業大学校でもめったにする事がなく、とても貴重な経験となりました。研修中は農業機械メーカーや周辺の農家の方々が多数訪れ、談笑したり、

農業について真剣に話し合ったり、そんな人と人とのつながりを大切にしており、相互扶助の精神を学びました。

この研修での経験をもとに、学生生活残り数ヶ月を迎えた今、私は農業法人で働くという決心ができました。



短期研修科 粕谷 耕平



湯梨浜町でいちご生産に取り組む山中清司さんのもて研修させていただきました。山中さんは、平成23年に就農され、経営を拡大中で、今年はハウス5棟、14aの経営をされています。

私は、今年から栽培を開始した高設栽培の定植を行いました。農業の大変さを体験すると共に、慌てないで的確に作業を進めたり、地域に溶け込んでいる山中さんの姿に感心しました。近所の就農者との交流も図り、短期間ではありましたが、研修後の進路を考える上で、貴重な体験となりました。

お知らせ

鳥取県立農業大学校

平成26年度学生募集

豊かな自然に恵まれた県立農業
大学校で最先端の農業を学ぼう

■募集人員

養成課程農業経営学科 30名

(推薦入学者を含む)

・出願時に果樹・野菜・花き・作物・畜産のコースを選択

■願書受付期間

一般入学・社会人特別入学

前期：平成25年11月 5日(火)～22日(金)

後期：平成26年 1月 6日(月)～24日(金)

■試験日

一般入学・社会人特別入学

前期：平成25年12月 8日(日)

後期：平成26年 2月 9日(日)

■申込・問合せ先

教育研修課 田中



研修課程 短期研修科 研修生募集

短期研修科は、1年以内の修業期間(12か月、6か月、3か月)で、社会人等で新たに就農を希望される方を対象に、必要な知識と基本技術について実践的に学び、すぐに就農できる人材を養成する課程です。

コース	開講時期	専攻	募集定員	主な内容
3か月	4月	果樹・野菜 花き・畜産・作物(*)	5名程度 (開講ごと)	農業の基礎的知識の習得と作物ごとの基本的技術を実習主体で学びます。 ※注 作物専攻は、4月、7月開講のみ
	7月			
	10月			
6か月	7月	果樹・野菜 花き	5名程度 (開講ごと)	基礎的知識の習得と播種から収穫までの全栽培期間を通した作物ごとの基本的技術を実習と講義で学びます。
	1月			
12か月	4月	果樹・野菜 花き・畜産	6名程度 (開講ごと)	経営計画演習や就農相談、農家留学研修等をカリキュラムに取り込み、より高度な知識と実践力習得が可能です。
	10月			

- (注1) 受講願書の受付期間は、それぞれの開講月の2か月前です。
- (注2) 各コースとも、希望する専攻を1つ選んで受講します。
- (注3) 作物専攻は、3か月コースの4月、7月開講のみ受講可能、畜産専攻の6か月コースはありません。
- (注4) 登校日は、原則として開講期間中毎日(土日、祝祭日等の休日を除く)ですが、週2日の指定研修日以上の日数出席した方に修了証書を授与します。
- (注5) 受講資格は就農を希望し、修了後就農が見込める方で、受講開始時の年齢が65歳未満の方

- 通学が困難な方は、国際農業交流館への宿泊が可能です。(有料)
- 農業にチャレンジしたい方は、お気軽に研修科までお問い合わせください。

『修農祭2013』開催!!

毎年恒例の修農祭を開催します。皆様、ぜひお越しください。

- 日時** 11月23日(土) 午前10時～午後1時
- 場所** 校舎西側の駐車場及び機械庫の周辺 (当日は案内板を設置します。)
- 駐車場** トラクター練習場 (校舎南側)



学生会長から一言!! 学生会長 藤井 裕國

まだまだ食欲の秋!
 修農祭では、農大で作った新鮮な作物をお買い得な値段で販売いたします。
 また、屋台も出店します。農大産の農作物などを材料とした“屋台の定番メニュー”の数々を是非ご賞味ください。
 当日限りのイベントもありますので、多くの方に来ていただきますよう、お待ちしております。